

竹で作ったマイ箸とお椀で そうめんツルツル〜



お父さんお母さんと一緒にガリガリ

そうめんが美味しい季節。8月1日、教育部会が企画した「竹細工&そうめんランチ」に9家族30人が参加し、垂水邸で竹のお椀や箸づくりに挑戦した。

自分で作ったお椀とお箸で食べるそうめんの味は格別。「おかわり！」の声が続いた。

午前9時半、お父さんたちが山で竹切り作業開始。切り出した竹で子どもたちが最初に作り組んだのは竹ポックリ。ノコギリを使うのは初めての子どもがほとんどで悪戦苦闘。「歯(刃)が立たない」とはこのこと、とお母さんたちも汗を流した。

一番のお楽しみはそうめんランチ。「僕、四杯目！」などと食が進んだ。台所で汗をかいたのは多久和喜代美さんと山崎達代さんたち。イベントを支える裏方がいるのが心強い。



おいしい!おかわり!

空き家の垂水邸を使った交流事業が順調に進んでいる。「どんな活用ができるか、挑戦してほしい」と多久和秀政交流部会長。利用申込はコミセンまで。

耕作放棄地復活プロジェクト

ソバ 種まき



8月1日、農水部会が進める耕作放棄地復活プロジェクトの第2回イベントに二〇余人が参加して、ソバの種まきを行った。

県・市職員も含め地区外参加者は5人。親子5人で参加した家族もいた。

次回は9月5日(日)午前8時半から草取り作業。その後は、刈り取り、脱穀などの作業が続く、十二月にはそば打ちが待っている。参加希望者は伊野コミセンまで。

085316911526